平成27年度 教育委員会補正予算(一般会計)要求の概要

(単位・千円)

補正要求額	27年度累計額	26年度当初予算額	増減額	増減率
501,414	113,687,845	112,248,485	1,439,360	1.3%

I 要求のポイント

1 教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成

【基本方針】

3月に策定した『「目標達成に向けた組織的な授業改善」推進手引き』に基づき、公立高校において、思考力・判断力・表現力の育成に向けた組織的な授業改善の取組を推進します。また、学習環境の整備を引き続き図ります。

(1)子どもの挑戦や自己実現を支える学校教育の推進

平成32年度に予定されている大学入試改革に向け、公立高等学校の生徒が主体的・協働的に学ぶことを促す授業改善に取り組みます。

(2)県民総ぐるみによる教育の推進

県立学校施設の長寿命化と学習環境の改善を図るため、大規模改造を実施します。

2 芸術・文化の興隆とスポーツの振興

【基本方針】

文化財等を活用した、郷土について学ぶ教育の充実を引き続き図ります。 スポーツ分野では、ジュニア層(小中学生)の発掘やトップアスリートへの支援を行い、更なる競技力向上を図ります。

(1)文化財・伝統文化の保存と活用

県内外に残るキリシタン資料等の調査・情報発信を推進します。 遊休施設を活用し、老朽化した埋蔵文化財センターの移転を進めます。

(2)県民スポーツの振興

国民体育大会10位台の定着や2020年東京オリンピックに向け、ジュニア層を発掘するとともに、オリンピックで活躍が期待される本県関係選手に対して、国内外での合宿や競技会への参加などを支援します。本県出身のトップアスリートと県内企業とのマッチングなどの県内就職支援を行うことで、本県へのUJIターンを促進します。

1,974

1,974

(注) 事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成27年度 教育委員会補正予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail:a31120@pref.oita.lg.jp(教育庁教育財務課)

平成27年度 補正予算 (一般会計) 要求の主な事業概要

(部局名:教育委員会) (単位:千円) 平成27年度 補正要求額 事 業 名 補正要求の概要 所管課 <累計額> (前年度当初) これからの社会で求められる資質や能力を育む高校教育を展開するた 特) め、今後の大学入試改革も踏まえながら、授業方法の開発、授業モデル 3, 213 大分発、未来を創る「学 〈3,213〉の研究などを行い、県内全ての公立高校での指導方法の充実を図る。 高校教育課 び」推進事業 (0)学校施設の長寿命化と学習環境の改善を図るため、大規模改造を実施 301, 587 <2,826,333> ・大規模改造 2校(大分南高校ほか1校) 2 県立学校施設整備事業 教育財務課 (2,794,753)• 体育施設 2校(由布高校ほか1校) バチカン図書館のマレガ文書(豊後地方のキリシタン関係史料)をは 特) 3, 100 じめとする県内外のキリシタン資料や遺物を調査し、その魅力を「ふる ふるさとのキリシタン文 <3, 100> さとのキリシタン文化」として県内外に情報発信する。 文化課 化魅力発信事業 (0)埋蔵文化財センターの老朽化が進んでいるため、旧県立芸術会館を改 特 修し移転する。 163, 692 埋蔵文化財センター移転 <163, 692> 文化課 事業 (0)オリンピック等の国際大会や国民体育大会等の全国大会で活躍できる 特 ジュニア選手を発掘するため、県内に在住・在学する小学校6年生及び 3,048 〈3,048〉中学校1年生を対象に体力テスト等による選考を実施する。 チーム大分ジュニアアス 体育保健課 5 リート発掘事業 (0)2020年開催の東京オリンピックに向けて、出場が期待される本県 特 24,800 出身選手の重点強化を図ることにより、多くの本県出身選手の出場を目 2020東京オリンピッ 〈24,800〉指す。 体育保健課 6 ク選手強化事業 (0)オリンピック等を目指すトップアスリートが安心して競技に打ち込める環境を整備するため、JOCとの連携により県内企業とのマッチングを行い、トップアスリートの県内への就職支援を実施する。 特 1,974 トップアスリート就職支 <1,974> 体育保健課 援事業 (0)

^{※(}特)は「おおいた地方創生枠事業」